

(2015 年度) 第 4 回 応用地形判読士資格検定試験 一次試験問題

[午後の部]

試験実施の注意事項

➤ この試験会場では、次に示す 3 つの資格検定試験を実施する。

地質調査技士資格検定試験／応用地形判読士資格検定試験／地質情報管理士資格検定試験

➤ 試験実施にあたっては、次に示す試験の実施時間、各試験共通の注意事項および受験する資格検定試験の注意事項を確認すること。

試験の実施時間

試験種類	午前の部	午後の部
地質調査技士資格検定試験	午前 9 時 30 分～午後 12 時 30 分	午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分 ※現場調査部門は口答試験を実施
応用地形判読士資格検定試験	午前 9 時 30 分～午後 12 時 30 分	午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分
地質情報管理士資格検定試験	午前 9 時 30 分～午後 12 時 30 分	なし

各試験共通の注意事項

- (1) 筆記試験は、全国統一試験問題として一斉に行う。
- (2) 試験開始後 1 時間は、退場を認めない。
- (3) 試験実施にあたり、落丁や乱丁のないこと、また印刷の不鮮明な点がないことを確認すること。
- (4) 試験中、机の上には、筆記用具、受験票、試験問題用紙、答案用紙、その他指定された文房具以外のものは置かないこと。また、試験中の飲食は禁じる。
- (5) 試験開始後は、参考書籍のほか、携帯電話など電子機器類の使用は一切禁じる。  
また、試験開始後は、原則として質問に応じない。
- (6) 試験終了後、この問題は持ち帰ってもよい。

応用地形判読士資格検定試験の注意事項

- (1) 問題は、A 群から 1 問、B 群から 1 問、選択すること。
- (2) 解答は、マス目入り答案用紙に記入すること。  
答案用紙には、受験番号と選択した問題番号を必ず記入すること。
- (3) 試験問題の一部で使用している国土地理院発行の地形図は、上を北としている。
- (4) 試験に使用できる文房具は、鉛筆またはシャープペンシル／消しゴム／定規／三角スケール／拡大鏡 とする。

以上

## 《A群》

- A-1. わが国における泥炭および泥炭地について、以下の設問に答えよ。
- a) 泥炭が分布する地形種を三つ挙げ、地形との関連を説明せよ。
  - b) 泥炭地の、一般的な形成過程を述べよ。
  - c) 泥炭の工学的性質をもとに、泥炭地で生じる可能性がある工学的問題点について述べよ。
- A-2. 三陸海岸や紀伊半島の海岸沿いに見られるリアス海岸について、以下の設問に答えよ。
- a) リアス海岸の成因と形成条件（どのような場所にできるか）について、詳しく説明せよ。
  - b) 将来この地形はどのように変化するのか、現在の状況が長期にわたり継続される場合と地球環境が変化する場合とに分けて説明せよ。
  - c) この地形に関連して、他の地域よりも影響を受けやすい自然災害とその原因（理由）について説明せよ。

## 《B群》

B-1. 火山碎屑物について、以下の設問に答えよ。

- a) 火山碎屑物について説明せよ。
- b) 火山碎屑物からなる岩石名を三つ挙げ、それぞれの特徴を説明せよ。
- c) 火山碎屑物からなる地形種を一つ挙げ、その地形的特徴を述べよ。また、その地形種および周辺で生じる可能性のある災害を一つ挙げて、地形地質調査における留意点を述べよ。

B-2. 下の地図は、山口県山口市近郊の花崗岩からなる山地の地形図である。地形図中にA、B、Cで示した円で囲んだ場所について、以下の設問に答えよ。

- a) 表層から2m程度の深さまでの構成物質を想定せよ。
- b) 3箇所の地形の成因について述べよ。

